

# 南小だより

[minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp](mailto:minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp)

平成29年11月1日

11月号

さいたま市立南浦和小学校  
電話 048-861-3781



## 2017 実りの秋

校長 笹原 秀之

東京の今年の8月の日照時間は史上最短で、9月も平年の66%だけで大変少なかったようです。日照時間以外にも、「50年ぶり」とか「今までの中で最も…(多い、少ない、高いなど)」という言葉をよく聞いたように思います。

このような影響からか、先日、地域の方とお話をしていたら、「今年の柿は少ないし、できがよくないな。」とおっしゃっていました。様々なところに影響が出ています。

しかし、先日南小ランドを見に行ったら、今年もミカンがたわわとなり、黄色く色づき始めていました。また、大根やサツマイモなども、葉を見る限りではしっかり成長し、そろそろ収穫の時期を迎えます。見て歩いているだけで実りの秋を実感します。



子どもたちも実りの多い学習を行っています。

6年生の修学旅行は、これも珍しい10月の長雨となり、天気予報でも連日傘マークが付き、雨の日光を覚悟していました。ところが、奇跡的に修学旅行に合わせてくれたかのように晴天となり、爽やかな中、出発することができました。男体山も雄大にそびえ、戦場ヶ原も軽やかに歩くことができました。

しかし一転、夜中からは雨が降り出しました。さらに朝になってみると、なんと雪に変わり、うっすらと白く積りました。日光の初雪でした。男体山も、上層部は雪化粧、裾野付近は鮮やかな紅葉と、そのコントラストは感動的でした。

東照宮では、これまた40年ぶりにお化粧直しされた陽明門が4年ぶりに公開され、絢爛豪華な美しい姿を見ることができました。

このように、今年の修学旅行はタイミングが良く、経験できないこと尽くめとなりました。先生方と「今年の6年生は何かもっているね。」と言って帰ってきました。

5年生は、理科の授業で「流れる水のはたらき」を学習しました。教室で勉強した後、校庭の南東にある小山で実際に水を流して、その働きを体験しました。山の上の方での浸食、中流での運搬、下流での堆積を目で観たり指を水や土の中に入れて確かめたりしていました。ついでに私も、扇状地の話をし、ほんの少しだけ社会科の勉強もしました。

1年生は、生活科で睦神社にドングリを拾いに行きました。よく見ると、コナラやカシ、ミズナラなどの細長いものやクヌギなどの丸いものなど、いろいろな種類のドングリがあり、子どもたちは喜んで拾っていました。私のところにも、「こんなに大きいのがあったよ。」とか、「ほら、帽子をかぶっているよ。」とか、「緑色のがあった。めずらしい。」などと言って、次々と見せに来てくれました。拾って楽しむことも勉強です。

そして、この後は、教室でこのドングリを使って様々な遊びを楽しみました。この他にも、2年生の町探検や3年生の工場見学、4年生の総合での「地域の名人に学ぶ」などの学習も行われ、座学ではなく楽しさや納得の伴った豊かな学びを経験していました。

天候とは裏腹に、子どもたちの学びは実り一杯の秋でした。

